

平成30年度県立病院事業経営評価委員会からの  
意見への対応状況

令和元年11月11日  
福島県病院局

意見	対応状況等
<p>南会津病院の看護師の人員配置に関して、特に産休育休を取得する際の代替職員の確保が必要。</p>	<p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時職員の採用により代替職員を確保しているところ。</li> <li>・9月末現在、代替職員の不足は生じていない。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢吹病院で1名不足している状況であるが、ハローワークでの求人のほか、友人知人への声かけにより有資格者の確保を図っている。</li> </ul>
<p>医療安全研修参加率が、南会津病院、ふたば復興診療所ともに良い数字ではない。</p>	<p>【南会津病院・ふたば復興診療所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体への周知を徹底することで参加率の向上を図った。</li> <li>・参加できなかった職員（特に医師）に対して、DVDを用いた補講を実施。</li> <li>・今年度の研修参加率は100%となっている。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の複数回実施による参加機会を確保しているほか、レポート提出など研修参加の代替手段を準備している。</li> <li>・今年度について、矢吹病院と宮下病院では、9割以上の研修参加率となっており、今後実施を予定しているふたば医療センター附属病院でも周知を徹底し、多数の参加を求めている。</li> </ul>
<p>南会津病院の患者満足度が低下している主な原因である待ち時間の問題を解決する必要がある。</p>	<p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来からの取組として、患者への声かけや案内、医師による説明を行うなど、待ち時間に関する患者理解を図る取組を行っている。</li> <li>・新たな取組として、円滑な診療のため、外来にフリーの看護師を配置し採血や採尿に対応するなど、検査時間等を短縮している。</li> <li>・また、今年7月の受診患者を対象に、診察・検査・会計などセクション別の詳細な所要時間を調査し、待ち時間の要因を検証しているところ。</li> <li>・検証結果を踏まえて対策を検討し、対応可能なものから速やかに取り組んでいく。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約制により患者の集中を緩和している。</li> <li>・業務が集中する部門のスタッフの配置を手厚くしている。</li> </ul>
<p>診療報酬改定により認知症やオンラインの診療に係る評価点が高くなっているため、経営戦略に取り入れていくことが必要。</p>	<p>【宮下病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア加算2を算定。</li> </ul> <p>【南会津病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア加算2を算定したものの、算定要件を満たさなくなったことで中断しているが、令和2年1月から算定再開予定。</li> <li>・オンライン関連として、県立医大と連携による人工透析遠隔管理について12月末を目途に準備中。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症やオンライン診療に係る加算算定については、患者動向等を踏まえ、算定には至っていないが、次回の診療報酬改定に際しては、新たな加算を検討する。</li> </ul>